

「静鉄×東冷」が語り合う地域貢献の未来

～静岡・清水の魅力を発信する「天上鮪ラッピングトレイン」～

東洋冷蔵株式会社（三谷社長）と静岡鉄道株式会社（川井社長）は、2023 年に運行を開始した「天上鮪ラッピングトレイン」からコラボレーションを実現しました。静岡・清水港のマグロを象徴するラッピングトレインにより、地域の魅力と価値を発信しながら、事業活動を通じた課題解決への取り組みを進める、両社トップの「想い」を対談形式で伺いました。対談は両社の社員も参加する中、「安全・安心・快適」に守られ、「いろいろ」ゆたかで「ときめき」あふれる雰囲気で行われました。



天上鮪ラッピングトレインは、TOREI の原点「海」とお客様の「食卓」を繋ぎ、豊かな生活を彩る会社の姿勢をブルーのカラーを基調に、荒波と鮪の盛り合わせの写真がダイナミックに配置されたインパクトのあるデザインで街を盛り上げています。

天上鮪ラッピングトレインの誕生と地域貢献への取り組み

——美味しそうな鮪がインパクト抜群のラッピングトレインを始めたきっかけを教えてください



三谷社長：「天上鮪」は、美味しいマグロとは何かを追求して生まれたブランドです。静岡・清水の地域社会の一員として、地元の皆様に美味しいマグロの価値を伝えたい、観光で足を運んでくださる皆様にも清水が「マグロの街」だと発信したい、そして長旅を終えた船員の皆様には感謝の気持ちを伝えたい。地域への私たちのあふれるたくさんの「想い」からラッピングトレインプロジェクトを決定しました。皆様から『見たよ』『いいね』という嬉しいお声をいつも頂いております。

川井社長：お客様からは『マグロ電車』や『お刺身電車』と親しまれています。東洋冷蔵さんのブランドのプロモーション効果はもちろん、清水の街の話題作りや「マグロの街」としての地域イメージの向上にも大きく貢献しています。

——東洋冷蔵と静岡鉄道、業態は異なりますが生活に豊かさを提供している点で共通しています。地域への貢献で、各社で力を入れている取り組みを教えてくださいませんか？

三谷社長：地元の小学校の社会科見学受け入れや『清水港マグロ祭』への協賛を通じて、地域とのつながりを深めています。また、清水で創業し、これまで当社を支えてくださった地域への感謝の気持ちを込めて、清水エスパルスのスポンサーとして 20 年以上にわたり応援を続けています。

川井社長：静岡鉄道は交通インフラを通じて地域を支えています。『安全と安心』をお客様に約束し、確実な輸送を提供することが私たちの社会貢献だと考えています。また、私たちのビジネスは、お客様が電車やバスに乗ること自体が目的ではなく、お客様ご自身とおお客様の目的を繋ぐ、インフラです。同じように、東洋冷蔵さんの取り組みも、食の安全・安心を通じて地域や社会を繋ぐ重要なインフラだと感じています。日常の中で当たり前にご利用いただく鉄道や食の安全・安心を確保することが、なによりも地域の皆様との信頼関係を築く基盤だと考えています。

静岡・清水を『マグロの街』として世界に発信するビジョン

——私たちの共通のルーツである静岡・清水は「マグロの街」として知られています。「マグロといえば静岡・清水！」という地域の知名度を上げていくためのビジョンはありますか？

三谷社長：清水は冷凍マグロの水揚げ量日本一の拠点です。清水で水揚げされたマグロは、全国の食卓や寿司店で親しまれています。この『食のルーツ』をもっと多くの方に知っていただくことが、清水の価値を高めることに繋がると考えています。私たちは、マグロの美味しさや安全・安心、そして刺身文化の素晴らしさを伝えることはプロフェッショナルです。この強みを活かし、静岡鉄道さんと連携しながら、マグロを観光資源のキーコンテンツの1つとして国内外に発信していきたいと考えています。



川井社長：清水港は観光資源として大きな可能性を秘めています。今年4月には、JR清水駅と西伊豆を結ぶカーフェリーの乗り場が直結し、電車を降りてすぐマグロを楽しみ、そのまま船で西伊豆へ向かうという新しい観光ルートが誕生しました。このように、「点と点を結び」、観光地としての「面を広げていく」ことが私たちの観光戦略の柱です。清水でマグロを堪能した後、『マグロトレイン』に乗って訪れることができる観光スポットとして、わさびやプラモデルなど、世界に誇れる文化があります。こうした強い観光資源を結びつけ、清水全体を魅力的な観光地として発展させていきたいと考えています。また、清水港はクルーズ船の寄港地としても注目されており、外国人観光客の多くが清水港に立ち寄り、マグロを楽しみにしていると聞いています。『清水はマグロの街』というメッセージを世界に発信していきたいです。



静岡鉄道では地元名物を活かしたイベント列車を運行し、地域を盛り上げています

静岡・清水の未来を支えるための地域へのメッセージ

三谷社長：マグロ産業は、漁船の減少や円安の影響、さらには日本の人口減少による水産物消費の減少など、課題を抱えています。ただ、清水港のマグロ水揚げ機能は、冷凍庫や加工場といったインフラが整備され、唯一無二の基盤です。私たちの事業にとって欠かせない場所であることは今後も変わりません。私たち東洋冷蔵が、マグロ産業を持続的に発展させることが清水の街の未来に繋がると考えています。マグロの美味しさやその価値、そしてインフラの重要性を地元の皆様にもっと知っていただきたいと思います。地元の皆様のご理解と応援を今後お願いいたします。



川井社長：静岡鉄道も、清水の魅力を発信し、地域の活性化に貢献することを使命としています。東洋冷蔵さんと共に、清水のマグロ産業を支え、地域の未来を創る取り組みを続けていきます。



「天上鮪ラッピングトレイン」に乗って、清水の街を訪れ、美味しいマグロを堪能してみませんか？
両社の取り組みを通じて、静岡・清水の魅力をぜひ体感してください。
【静岡鉄道の皆様に「天上鮪」をご試食いただきました！】



静岡鉄道株式会社は1919年にお茶の葉を清水港に運ぶための鉄道として創業されました。

その後、地域の足としての需要の高まりとともに、旅客輸送ヘシフトし、現在は鉄道事業だけでなく、静鉄グループとして、バスやタクシーも含めた交通事業、不動産事業、流通事業、自動車販売事業、レジャー・サービス事業を担っています。安全・安心・快適のあくなき追求という理念のもと、静岡の暮らしに豊かさを提供するソーシャルグッドカンパニーとして多角的に展開されています。

<お問い合わせ先>

東洋冷蔵株式会社 総務人事部 総務課 TEL : 03-5620-3200 MAIL : torei-qa@toyoreizo.co.jp